



WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>

7 月 号

平成 29 年 6 月 30 日

横浜市立東中田小学校

校 長 天野 直美

TEL.802-0500 FAX.801-4089

まちの灯りとなるために

校 長 天野 直美

5 月末に中田中央公園の田村所長より電話があり、昨年度東中田小学校の 5 年生が放流したホタルが 6～7 匹飛んでいるのを確認したとのことでした。電話の向こうの声が高揚していました。早速その日に、副校長先生が見に行き、「ゲンジボタルの光はしっかりしていて、土手の上からもよく分かりました。」と報告してくれました。私も 6 月 3 日の夕方に夫と公園に行ってみました。最初は我々二人だけだったのですが、あたりが夕闇に包まれるころ、一組のご夫婦がやってきました。その後子ども連れのご一家も加わり、それぞれに一言二言会話を交わしながらじっとホタルが現れるのを待っていました。すると、草むらに光。「あ、光った。」「あのあたりを見ていると光るよ。」子どもの声にしたがって全員がそのあたりに目をやると、光が十数秒続いて消えました。それからは誰かの声を頼りにホタルの光を追いました。2 匹のホタルが飛びながら発光する様はまるでダンスを踊っているかのようでした。隣にいたご夫婦が「今日は通りすがりにここへ来てみたけど、来てラッキーだったね。」「ここにホタルが住むようになったのも、誰かがこの場所の環境を改良して幼虫を放流してホタルの住処を作ってくれているからだね。」「ありがたいね。」その会話を聞いたとき私は「子ども達の取組がまちの見知らぬ人々に感謝されている。」と思い、胸が熱くなりました。ホタル出現の情報を聞き、公園に足を運んだご家庭もあったのではないのでしょうか。放流に関わり、自分たちの取組がまちのために生かされる経験の機会を与えていただいた丸茂高先生を始め中田中央公園の皆様には感謝いたします。なお今年度も 5 年生が放流を体験させていただく予定です。

6 月 13 日に 5・6 年生が体育館に一同に集まり、国際平和スピーチコンテストの校内予選が開かれました。まず 6 年生全員が国際平和についてスピーチ原稿を作成し、その中から各クラス 3 名ずつ代表が選ばれ発表しました。どのスピーチも誰かのために自分が出来ることを考え、行動して少しずつでも世の中をよくしていこうとする想いが表れていました。聞いている子ども達の真剣さも伝わってきました。

いつかどこかでやさしく光る まちの灯りとなるために
鍛えておこう それぞれの明日は すぐにやってくる

これは私が以前勤めていた小学校の校歌の一部です。作詞家星野哲朗さんの作です。ホタルの放流やスピーチコンテスト等の活動経験を重ねることで、子ども達一人ひとりがまちを守り、照らす人材に育つのだらうと思います。東中田小学校は、子ども達を共に見守り、共に育てていこうとする地域・保護者に支えられております。もうすぐ夏休み。お祭り・キャンプ等様々な場面で子ども達が成長する機会を与えていただける事を有難く思います。